



**世界的にも珍しい立体視対応の
飛び出すプロジェクションマッピングが
日本 SF 大会で広島にお目見え！**

AAI ひろしま Plan は7月20日(土)～21日(日)広島市で開催される第52回日本 SF 大会の会場内一般公開エリアにて、立体視に対応したプロジェクションマッピングイベント「S3D プロジェクションマッピング “時空の階段”」を会場のアステールプラザ大階段で実施いたします。今回はテーマを『時空の階段』として、広島を中心に活動するクリエイターから S3D 作品を募集・上映いたします。

※S3D とは、Stereoscopic 3D = 立体映像の略。

このイベントは、東京駅丸の内駅舎や札幌雪まつりの豊平館雪像への投影で話題となったプロジェクションマッピングの技術をさらに進化させ、映画でも採用されている S3D 映像（飛び出しや奥行き感が感じられる映像）に対応させたもので、立体視に対応させたプロジェクションマッピングを行います。今回は階段という立体物に投影しつつも、S3D 映像の効果を利用して目の前の階段とは全く異なる空間を登場させるという、高度で革新的な表現を実現します。

このような S3D 映像を利用したプロジェクションマッピングのイベントでの実施例は世界的に見ても例が少なく、2012年にスイスのジュネーブで行われた Mapping Festival で出展された例がある程度です。

今回、私たち AAI ひろしま Plan は、日本 SF 大会にふさわしい未来を表現する協力イベントとして「S3D プロジェクションマッピング “時空の階段”」を企画いたしました。立体視に対応したプロジェクションマッピングを実現するに当たっては、S3D 映像とプロジェクションマッピングの両方に精通した制作チームが必要となるため、AAI ひろしま Plan では、この両方の表現に実績のあるアンビエントメディア代表の町田聡氏をプロジェクトのスーパーバイザーに迎え、広島のクリエイターも含めた S3D の専門制作チームで制作にあたりました。（このイベントでは立体視を採用していないプロジェクションマッピング作品も含まれます。）

AAI ひろしま Plan は、このイベントを通して中国地方でのプロジェクションマッピングや S3D 映像を含めたメディアアートのイベント化に積極的に取り組むなど、今後も中国地方におけるクリエイターの活性化を通して中国地方の地域活性化に務めて参りたいと考えています。

■実施概要

・イベントタイトル：S3D プロジェクションマッピング “ 時空の階段 ”

・プロジェクションマッピング企画実施：AAI ひろしま Plan
企画協力：(株)広島ホームテレビ

・場所：アステールプラザ 〒730-0812 広島市中区加古町 4-17

・投影日時：7月20日(土) 上映開始 20:00～

※開場時間の詳細や参加方法は下記でご確認いただけます。

AAI ひろしま Plan Facebook ページ (<https://www.facebook.com/aaiplan>)

※会場の都合で本イベントへの参加はSF大会参加者を優先させていただきます。優良な視聴範囲に限られるため、観客席は抽選となる場合があります。

※立体視方式：アナグリフ方式(赤青メガネ使用)

※立体視非対応の作品も含まれます。

- | | | |
|---------------------------------------|----------------------|--------------------|
| ・プロデューサー/クリエイター | 泉尾祥子 | AAI ひろしま Plan |
| ・イベントディレクター | 石橋健太 | マグマワークス |
| ・プロジェクションマッピングスーパーバイザー | 町田聡 | アンビエントメディア |
| ・プロジェクションマッピングコンテンツテクニカルディレクター/クリエイター | | 吉川マッハスペシャル |
| ・プロジェクションマッピングシステムテクニカルディレクター | 浦島啓 | (株) コローレ |
| ・S3D スーパーバイザー/クリエイター | 阿部信明 | (株) QXD |
| ・S3D ディレクター/クリエイター | 千葉祐吾 | (株) Flapper3 |
| ・S3D クリエーター | 白砂貴広 | (株) Flapper3 |
| ・クリエイター | 堀尾充 | 比治山大学美術科教授 |
| ・クリエイター | 的場智美 | 比治山大学美術科講師 |
| ・クリエイター | 宮崎しずか | 比治山大学美術科助教 |
| ・クリエイター | zozì | 巖島神社のひと |
| ・クリエイター | 渡辺桂三 | AAI ひろしま Plan |
| ・クリエイター/音楽 | vj. nanographica/宇都衛 | (ユ-・ティ-・オー/二人展) |
| ・クリエイター | 清水誠也 | SHIMIZU R&D OFFICE |
| ・クリエイター | 藤井宏規 | (株) 新日放 |
| ・映像記録 | 土佐岡恭大 | |
| ・イベント記録 | 藤木崇 | (株) 広島ホームテレビ |

※予定含む

●AAI ひろしま Plan とは

広島市にあるクリエイターの交流団体、中国地方におけるクリエイターの活性化を目指し、アートやテクノロジー、サイエンスなどの分野を超えたクリエイターやスペシャリストの交流を原動力にしたイベントを中国地方で開催し、地域の文化へ貢献していくために設立された任意団体。
(代表：泉尾祥子)

●プロジェクションマッピングとは

プロジェクターの映像をスクリーン以外の「物」に直接投影し、映像により物や建物さらには空間までを変貌させる技術、東京駅丸の内駅舎の事例により日本でも知名度が上がっている。屋外での大掛かりな利用の他、屋内での中、小規模な利用もできる映像による新たな表現手法。

●S3D プロジェクションマッピングとは

S3D は立体視を意味する「Stereoscopic 3D」の略で、3D 映画などで採用されている S3D 映像によるプロジェクションマッピングのこと。通常のプロジェクションマッピングは対象物に 2 次元映像（2DCG や 3DCG を含む）を投影するが、S3D プロジェクションマッピングでは、左目用の映像と右目用の映像を投影することで、建物や造形物など立体物に元の形状とは異なる立体感を表現することができる。飛び出し感や奥行き感といった空間的な広がりのある映像を立体物に投影することで、通常のプロジェクションマッピングでは得られない、更なる臨場感と新しい映像体験を見る人に与えることができる。

●第 52 回日本 SF 大会（愛称：こいこん）とは

1962 年に東京で開催されて以来、SF ファンの手によって年に 1 回全国各地で開催される SF コンベンション。主なプログラムは、SF とその周辺分野による文化交流コンベンション、星雲賞授与式、作家による講演会、先端分野の研究者のパネルディスカッション、関連企業展示・映画上映などが行われる。

アマチュアイベントとしては最古のものの一つ。広島県では 1997 年に宇品の広島プリンスホテル（現グランドプリンスホテル広島）で（愛称：あきこん）として開催されて以来 16 年ぶり 2 度目の開催となる。

日 程：2013 年（平成 25 年）7 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場：広島県広島市 アステールプラザ

主 催：第 52 回日本 SF 大会実行委員会

入 場 料：一般公開エリア 無料

文科会エリア 大人 1 日間 13,000 円 2 日間 25,000 円

学生（満 22 歳まで）1 日間 3,000 円 2 日間 6,000 円

公式 WEB：<http://www.koicon.com/ja/top.html>

本ニュースリリースのお問い合わせ先

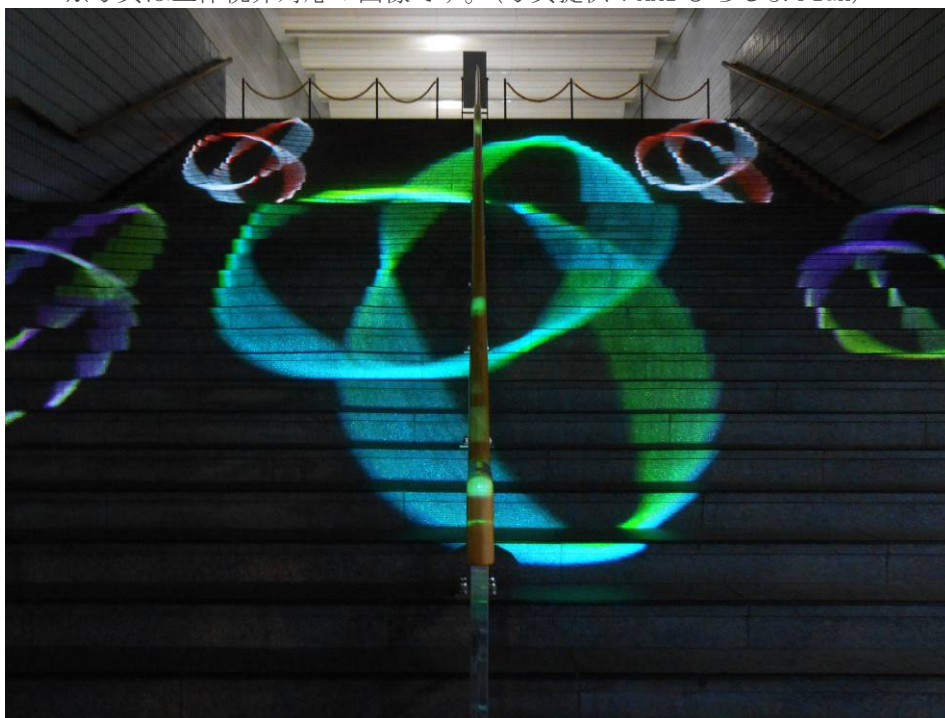
AAI ひろしま Plan 泉尾祥子（いずお しょうこ）

・メールアドレス：aai.h.plan@gmail.com

・電話：070-5301-3690

■実施イメージ

【写真1】 アステールプラザの大階段に投影している様子 ※当日の上映内容ではありません。
※写真は立体視非対応の画像です。(写真提供：AAI ひろしま Plan)



【写真2】 立体視対応のアナグリフメガネ（通称：赤青メガネ）をかけて、S3D プロジェクションマッピングを見ている様子（写真提供：AAI ひろしま Plan）

